

# まなViva!

「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

## 「PBL」とは？

PBL (Project Based Learning) は、日本語では「問題解決型学習」「課題解決型学習」などと訳される学習法です。知識の暗記などのような児童生徒が受動的な学習ではなく、自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした学習法です。

これまでからもあった学習法ですね。



## 「PBL」が注目される理由は？

### 問題発見・解決能力

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた時代の中では、答えのない問いにどのように立ち向かうかという資質・能力が問われます。目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すなど、正に学習指導要領で育成を目指す資質・能力が一層強く求められていると言えます(参考:中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して)。この能力を養うためには、「正解のない議論(課題)を通して問題解決へのアプローチ方法を身に付けること」が有効であり、「主体的・協働的に問題を発見し、解決する能力」をつけるのに適した学習法のひとつとしてPBLが注目されています。

### 資質・能力の育成のための基礎となる力

教科横断的な視点に立った資質・能力の育成に当たっては、「カリキュラム・マネジメント」(各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点からの教育課程の編成)を行うことが求められています。また、そのための学習の基盤となる資質・能力として、学習指導要領では、言語能力や情報活用能力とともに、問題発見・解決能力を位置づけ、その育成を図ることが示されています。

### 資質・能力の育成

「知識・技能」  
「思考力・判断力・表現力」  
「学びに向かう力・人間性等」

カリキュラム・  
マネジメント

各教科等

### 学習の基盤となる力

言語能力、情報活用能力

課題を見いだす

この問題について  
みんなで考えたいね

私はこう考えたよ  
みんなはどう思う？

主体的

ぼくはね・・・

協働的

なるほど! いろいろな考え方があるなあ。じゃあ・・・

納得解



納得解・・・答えが1つではなく複数の答えがあるかもしれない問いに対して、自分や皆が納得できる解。

	<u>各教科・総合的な学習の時間</u>	<u>必要な学習技能の例</u>
	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0;">                     総合的な学習の時間では、学習法の1つとして、「PBL」(課題解決型の学習)が特に注目されています。                 </div>	
<b>課題設定</b> ↓	・課題を発見し設定する。 ・解決の方法や手順を考える。	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffe0e0;">                         「なぜ」と疑問や違和感をもつことで、児童生徒自身に「問い」が生まれる。                     </div> 
<b>情報収集</b> ↓	・情報を効率的に収集する手段を選択する。 ・必要な情報を多様な方法で収集し、種類に合わせて蓄積する。	○相手に分かりやすくとずねる。 ○様々な情報手段を活用する。 ○学んだ調査・集計方法を活用する。
<b>課題分析</b> ↓	・異なる情報の共通点や差異点を見つけ、関係や傾向を明らかにする。 ・事象を比較したり関連づけたりして、確かな理由や根拠をもつ。	○話し合いを通して問題点を明確にする。 ○情報を目的に合わせて整理する。
<b>仮説構築</b> ↓	・課題を解決するためのアイデアや考えをまとめる。	○根拠に基づいて予想を立てる。 ○複数の情報や既習の知識・技能、経験からアイデアを考える。
<b>検証</b> ↓	・立てた仮説で課題が解決できるか検証して、解決策を練り上げる。	○解決へ向けての現実的な計画を立てる。 ○目的を明確にもち、チームワークで解決する。
<b>アウトプット</b> ↓	・相手や目的に応じて効果的な表現をする。	○目的や場面、状況等に応じて考えを適切に伝える。 ○多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりする。
<b>評価</b>	・学習を振り返り、次の学習や生活に生かす。	○課題が達成できているか、客観的に自己評価する。 ○根拠を示し、論理的に他者理解する。

教師の役割は？

学習者のモチベーションを引き出す学びのサポーター(助言者)や、ファシリテーター(学習支援者)となります。